

# 千歳市将来ビジョン

Chitose Future Vision



## 市長挨拶



半導体の国内生産の強化を目指す国家プロジェクトとして、令和5年（2023年）2月に次世代半導体メーカーのRapidusが千歳市での製造拠点の立地を決定しました。

本市においては、本プロジェクトに賛同し、同社の立地と操業を確実に成功させるべく、国や北海道をはじめとする関係者との連携や協力のもと、これまでセミナーの開催やホームページの開設など、半導体産業に関する市民理解を深めるための取組などを行ったほか、道路や上下水道などの様々なインフラ工事についてもスピード感を持って進めてまいりました。

本市は同社を中心とした半導体産業の拠点化を目指していますが、これに伴う将来のまちの発展を目指すためには、今後数年間で起こるであろう産業や人口構造の変化によるまちへの影響を捉え、的確な対応を行うことが重要であると考えたことから、本市のまちづくりを次のステージに進めるための方向性を示すため、同社の立地をきっかけとしたまちへの影響などについての調査・分析に速やかに着手したところであります。

「千歳市将来ビジョン」は、この調査・分析を踏まえてこのたび策定したものであり、様々な国内外の事例を参考にした半導体関連企業によるサプライチェーンの広がり方を示すとともに、それに伴うまちの変化やデジタル社会の進展なども踏まえた将来目指すまちのコンセプトなどを描きました。

将来ビジョンの内容を市民や企業、団体をはじめとする多くの皆様に理解、共感いただくことで、さらなるまちの発展に繋げてまいりたいと考えています。

本市は、すでに280社を超える様々な業種の企業が立地する「工業のまち」という特性がありますが、半導体産業の拠点化に向け必要な取組を進めることで、国内外の多くの方にこの特性が認知されていくものと考えており、将来的には、様々な波及効果が道央地域や全道、ひいてはわが国全体の利益につながるよう、願ってやまないものであります。

最後になりますが、将来ビジョンの策定にあたり、ご協力をいただきました各関係者の皆様をはじめ、パブリックコメントなどを通じて貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆様に御礼を申し上げます。

令和7年2月

千歳市長 横田 隆一

## 目次

|              |  |           |
|--------------|--|-----------|
| <b>第 1 章</b> | <b>はじめに</b> .....                      | <b>1</b>  |
|              | (1) 将来ビジョン策定の背景と目的 .....               | 1         |
|              | (2) 将来ビジョン策定の考え方.....                  | 1         |
|              | (3) 将来ビジョンの構成 .....                    | 2         |
| <b>第 2 章</b> | <b>半導体産業の概要</b> .....                  | <b>3</b>  |
|              | (1) 半導体産業について .....                    | 3         |
|              | (2) 日本政府の半導体産業戦略 .....                 | 11        |
| <b>第 3 章</b> | <b>Rapidus と千歳市</b> .....              | <b>13</b> |
|              | (1) Rapidus プロジェクト.....                | 13        |
|              | (2) Rapidus 事業モデル .....                | 16        |
|              | (3) Rapidus 小池社長コメント .....             | 20        |
| <b>第 4 章</b> | <b>これまでの市の取組</b> .....                 | <b>21</b> |
|              | (1) 企業集積調査と企業ニーズの把握 .....              | 21        |
|              | (2) 各インフラ整備およびこれに伴う各調整会議について .....     | 25        |
|              | コラム Rapidus 立地に伴う税金と市の歳入の見通しについて ..... | 29        |
|              | (3) 庁内組織の充実や市民理解促進に向けた取組 .....         | 31        |
| <b>第 5 章</b> | <b>企業集積に伴う人流と消費効果</b> .....            | <b>34</b> |
|              | (1) 出張で一時的に滞在する従業員 .....               | 34        |
|              | (2) 本市に転入する従業員とその家族.....               | 36        |
|              | (3) 人口動態分析.....                        | 38        |
|              | (4) 経済効果(建設・消費関連).....                 | 39        |
| <b>第 6 章</b> | <b>暮らしへの関わり</b> .....                  | <b>41</b> |
|              | (1) 子育て・教育 .....                       | 41        |
|              | (2) 高齢者福祉・医療.....                      | 43        |
|              | (3) 外国人対応.....                         | 45        |
|              | (4) 人材育成.....                          | 46        |
|              | (5) 周辺環境(水質) .....                     | 47        |
| <b>第 7 章</b> | <b>半導体産業集積に向けて-変化する千歳-</b> .....       | <b>49</b> |
|              | (1) 導入フェーズ(現在から短期:2030 年まで) .....      | 49        |
|              | (2) 成長フェーズ(中長期:2031 年以降).....          | 54        |
|              | (3) 変化する千歳 -概要図- .....                 | 57        |
|              | コラム カーボンニュートラルを目指すまちづくり .....          | 58        |
| <b>第 8 章</b> | <b>千歳市における半導体産業集積の成長性</b> .....        | <b>59</b> |
|              | POTENTIAL1 多様なファウンドリーの誘致/立地.....       | 59        |
|              | POTENTIAL2 ファブレスの誘致/育成.....            | 61        |
|              | POTENTIAL3 研究開発機関の拠点化.....             | 63        |
|              | POTENTIAL4 光電融合技術を用いた新産業の拠点化 .....     | 65        |
|              | コラム 世界への発信拠点になれるか?~共創エリアへのみちのり~ .....  | 66        |
| <b>第 9 章</b> | <b>将来のビジョン</b> .....                   | <b>69</b> |
|              | (1) 目指すまちのコンセプト.....                   | 69        |
|              | (2) コンセプト実現後のシーン.....                  | 72        |
|              | (3) 将来のまちの姿.....                       | 74        |
|              | コラム 変わる、街並み。ちとセミライのくらし.....            | 75        |
|              | 付属資料.....                              | 77        |

# 第1章 はじめに

## (1) 将来ビジョン策定の背景と目的

令和5年(2023年)2月、Rapidusが千歳市に次世代半導体製造拠点の立地を公表し、全国的な注目を集めています。

今後、本市においては半導体産業の集積が進むことで、人口、産業、学術・教育、医療・福祉など様々な分野への影響が想定されます。

Rapidus事業は国家戦略に則った巨大プロジェクトであり、本市のまちづくりに大きな影響を及ぼす可能性があること、そして同社が立地したことによるまちの変化を捉え、的確な対応を行うことでさらなる発展を目指すことが重要であると考え、この影響や変化等を調査し、これを踏まえたまちづくりの方向性などを市内外の方に分かりやすく示すことが必要であると判断し、本ビジョンを策定することとしました。

## (2) 将来ビジョン策定の考え方

本ビジョンは、未来の発展に向け目指すべき姿を描き、今後のまちづくりの方向性を示すものとなる一方で、本市の最上位計画である第7期総合計画や個別計画等の各行政計画は、Rapidusの立地表明以前に策定したものであり、半導体産業の集積がもたらすまちへの影響を想定した計画ではないことから、本ビジョンで示した本市の対応などを各行政計画に反映することで市政を的確に執行していく必要があります。

今後は本ビジョンに基づき、各行政計画に与える影響を検証し、必要に応じて計画を見直し、未来に向けた発展を持続するための必要な取組を推進していきます。

### (3) 将来ビジョンの構成

第2章から第3章にかけては、半導体産業の現状や日本政府が目指す半導体戦略や国家戦略である Rapidus プロジェクトの概要のほか、製造拠点の立地を本市に決定した背景に加え、本市が想定する段階的な企業集積の可能性を示しています。

第4章では Rapidus の円滑な操業を支援すると同時に、本市への企業集積を進めていく観点から、本市がこれまでに実施してきた企業ニーズの調査・分析やインフラ整備等の軌跡を掲載しています。

第5章から第6章にかけては、Rapidus 立地に伴う本市の人口の変化に加え、これによる消費活動の増加効果を掲載しているほか、市民の暮らしに特に関わりがあると思われる分野を5つのテーマに分け、本市の認識を掲載しています。

第7章から第8章にかけては、企業集積の動きを基軸としたまちづくりの方向性を、時系列・地域ごとに整理して本市の認識と対応として掲載したほか、今後の企業集積を進める上で本市が持つ潜在能力・可能性を「千歳市における半導体産業集積の成長性」として示しています。

最終章の第9章では、第2章以降で調査・分析してきた半導体産業集積の方向性や、これに伴うまちづくりへの影響、及び本市が持つ潜在能力を融合し、本市が将来にわたって目指していく3つのコンセプトを「将来のビジョン」として掲載しています。

- ※ 本ビジョンではOOnm(ナノメートル)という表記が多く登場しますが、これは、半導体の技術世代を表す「ナノメートルノード<sup>1</sup>」を意味します。
- ※ 本ビジョンの「現在」「現時点」については、令和6年(2024年)12月31日時点を指しています。

<sup>1</sup> ノードは半導体の製造技術の世代を表す指標。数字が小さくなるほど高性能であることを意味する。